

JCMA 報告

一般社団法人日本建設機械施工協会 令和7年新年賀詞交歓会報告

本協会の新年賀詞交歓会は、令和7年1月7日（火）午後4時から機械振興会館地下2階ホールにおいて開催された。

金井道夫会長は、冒頭の挨拶にて、「年末に不慮の事故でお亡くなりになった足立敏之参議院議員のご冥福をお祈りする」と弔意を示した。さらに、「災害発生時には建設機械の確保が重要であることから、その位置情報や性能をオンラインで確認できるよう会員の皆様のご協力をお願いしたい。また、海外については、エネルギーコストや環境に対する考え方が異なるため、海外調査を行い会員の皆様の参考になるよう取りまとめたい」と述べた。



写真—1 金井道夫会長

次に、佐藤信秋参議院議員が挨拶し、国土強靱化実施中期計画の検討の加速に意欲を見せるとともに、「人材不足が深刻化する建設業界において、働く者にとって新3K（給与・休暇・希望）のある魅力ある業界にすることが重要だ」と述べた。



写真—2 佐藤信秋参議院議員

続いて、吉岡幹夫事務次官が挨拶し、「災害発生時の建設機械の重要性は極めて高まっているとともに、ICTによる自動化や省エネ等の推進も同時に求められている。本会がその牽引役となることを期待する」と述べた。



写真—3 吉岡幹夫事務次官

続いて、廣瀬昌由技監が挨拶し、「人材不足が深刻化するなか、i-Construction 2.0の掲げるオートメーション化を通じて、省人化3割、生産性1.5倍向上という目標を確実に達成し、より生産性の高い建設現場を実現したい」と述べた。



写真—4 廣瀬昌由技監

最後に、須賀千鶴経済産業省産業機械課長が挨拶し、「去年は過去最高水準の賃上げ、設備投資、株価など経済指標に明るい兆しが見えた一年だった。今年はいずれをしっかりと定着させるために邁進して参りたい」と述べた。



写真一五 須賀千鶴経済産業省産業機械課長

次に、本田博人副会長（キャタピラージャパン（同）代表執行役員）の発声で、本年の発展と健康を祈念して乾杯した。

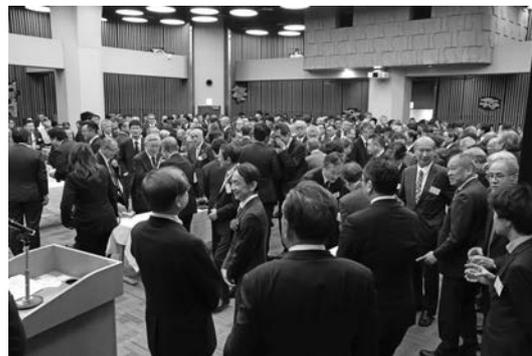


写真一六 本田博人副会長

最後に、清水琢三副会長（五洋建設㈱代表取締役社長）が閉会の挨拶を行い省人化に向けた i-Construction 2.0 の益々の発展を祈念し、令和7年新年賀詞交換会は午後5時に終了した。



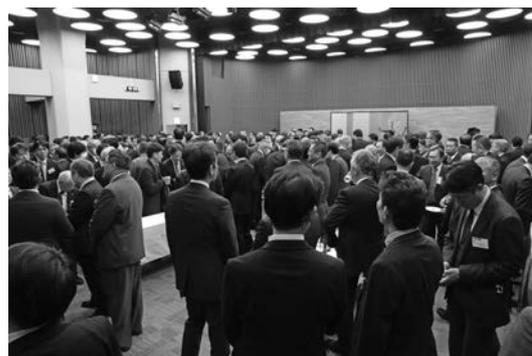
写真一七 清水琢三副会長



写真一九 会場全景①



写真一八 岩見吉輝業務執行理事（司会）



写真一〇 会場全景②